



実川たかし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

海岸保安林の早期再生を要望!

12月県議会一般質問に登壇



壇上から議場に語りかける実川県議

壇上から議場に語りかける実川県議
保については、今
必要苗木の確
ととしております。
ールを整備するこ
までに約40ヘクタ
約280ヘクタール
のうちの、今年度
造成については、
が完了する見込み
です。また、森林
造成については、
約280ヘクタール
のうちの、今年度
までに約40ヘクタ
ールを整備するこ
ととしております。
必要苗木の確
保については、今

12月定例県議会で、地元山武郡選挙区選出の実川隆(じつかわ・たかし)県議は、1期目ながら本会議場での今任期6度目の一般質問に登壇しました。実川県議はこの中で、九十九里地域活性化への強い思いを語り、農業問題や道路・河川問題などを取り上げ、県当局の一層の支援を要請しました。

このうち、海岸保安林の再生について、実川県議の要望に応じて、県は保安林内の砂丘の造成は来年度で完了する見込みであることを明らかにし、今後は森林造成に積極的に取り組んでいく考えを示しました。圏央道関連の道路整備などとともに、実川県議の質疑を特集しました。

来年度砂丘造成が完了 コンテナ苗の実用化も

実川議員 九十九里地区の海岸の県有保安林は、松くい虫などの被害に加え、東日本大震災の津波による冠水被害により、広範囲に松枯れが発生しています。一刻も早く砂丘が造成され、地域の皆さんが津波被害に対して安心して暮らせることを願っています。

年度、クロマツの種を採る採取園を増設したほか、植栽後の生育も良好で、苗木の育苗期間を2年から1年に短縮できるコンテナ苗の実用化に向けて、研究機関や生産者団体と連携して取り組んでいるところです。

県としては、来年度で砂丘造成が完了する見込みであることから、今後、苗木の供給体制の強化を図りつつ、森林造成を積極的に進めてまいります。

園芸産地強化に向け

実川議員 本県の園芸産地を強化するためには、機械化による農作業の省力化を進め、規模拡大を図ることが重要だと思いますが、県ではどのような支援をしているのか。

森田知事 本県の園芸産地を強化するためには、園芸産出額の約6割を占める「ニンジン」や「ネギ」などの露地野菜について、担手の経営規模の拡大を通じて、産地の生産力を強化することが重要ですが、そのためには機械化による省力

化が不可欠となります。このため、県では生産から出荷までの機械化を促進するため、①種まき機や収穫機などの省力機械の導入②収穫後の出荷調整作業を省力化できる大型集出荷場の整備③省力機械の普及に向けた実演会等の開催などに対し、支援しているところです。

今後とも、ハード・ソフトの両面から、機械化による規模拡大を積極的に支援し、園芸産地の強化を図ってまいります。



森田知事(左)に園芸振興を訴える実川県議

個性ある山武を創る

●山武郡や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

実川たかし 県議事務所

〒289-1732 TEL. 0479-82-2688
山武郡横芝光町横芝515 FAX. 0479-82-2799

圏央道の開通効果求めて!

圏央道との直結を要望

実川議員 圏央道の東金木更津間の開通で、県内外からの九十九里地域へのアクセスが飛躍的に向上しました。今後、九十九里地域のさらなる地域活性化のため、圏央道の開通効果を高めるためにも東金九十九里有料道路の活用が極めて有効だと考えます。

1点目として、圏央道開通後、東金九十九里有料道路の夏季観光シーズンの交通量の推移はどうか。

県土整備部長 東金九十九里有料道路は、千葉県道路公社が管理する、東金と九十九里間の交通混雑緩和や周辺地域の生活環境の向上並びに地域産業・経済活性化を図ることを目的とした延長約10キロの幹線道路です。

夏季観光シーズンの7月から8月までの1日当たりの平均交通量は、圏央道の開通前の平成24年で8109台、開通後の平成25年で8379台と増加していましたが、本年度は7389台となりました。これは、夏季の天候不順などの影響によるものと考えています。

要望 地域の活性化となるよう、圏央道の開通を生かして、九十九里方面へのアクセスを向上させ、九十九里地域の観光振

興などに寄与させるためにも、東金九十九里有料道路を延伸させ、圏央道と直結させることを要望します。

有料道路の利用促進

実川議員 東金九十九里有料道路の利用促進のため、県道路公社はどのような取り組みをしているのか。

「九十九里ドライブスロン」及び「ツール・ド・ちば」に協力したところであり、新たな有料道路の利用者増加を期待しています。

県土整備部長 九十九里地域などへの観光客に有料道路を認識していただき、利用してもらうことが重要です。このため、地域の魅力アップにつながる行事に参画することとしており、今年は

本年3月には、使い勝手の良い自動料金収受機に入れ替え、利用者の利便性の向上を図りました。また、料金所周辺に草花を配置し、季節感を演出するなどの取り組みも行っています。

新九十九里大橋

実川議員 (仮称)新九十九里大橋の建設に向け、どのように取り組んでいくのか。

県土整備部長 (仮称)新九十九里大橋は、県道飯岡一宮線のバイパスとして計画しており、2級河川作田川の河口部に架かる橋梁です。県では、平成20年3月に事業計画について地元説明

会を開催しましたが、この説明会で沿線住民の方々から生活環境への影響などについてさまざまな意見が出されたところです。

県としては、引き続き、地元九十九里町の協力を得ながら、事業に対する住民の理解が得られるよう努めてまいります。

真亀川の堆積土砂

要望 新橋建設については、着手までに地の調整など、いろいろ難しい面もあると思いますが、

九十九里町と連携を図り、1日も早く建設に着手していただくよう要望します。

実川議員 浸水被害を軽減するため、真亀川河口部に堆積した土砂を除去すべきと考えるがどうか。

県土整備部長 県では、河川機能を維持するため、千葉県河川等巡視基準などに基いて点検・巡視を行い、治水上支障となる堆積土砂を除去しており、真亀川についても適切に維持管理を行っているところです。

しかしながら、真亀川の河口部などでは、地盤沈下が進行し、自然排水が困難となっている事例も見られます。

実川議員 町などが真亀川への雨水排水を強化する場合、河川管理者としてどのような対応をするのか。

県土整備部長 真亀川流域から河川への雨水排水強化のため、町などがポンプの新設や増強等を行う場合、河川管理者として助言や指導など必要な支援を行ってまいります。



議場の自席から再質問に立ち上がる実川県議

養護老人ホーム

実川議員 養護老人ホームの入所率向上に向け、県としてどのように取り組んでいくのか。

健康福祉部長 養護老人ホームは、身寄りがなく、経済的に困窮しているなど、自立した生活が困難な高齢者を受け入れる重要な施設ですが、近年、施設の知名度が低下していることや、市町村における入所手続きに時間がかかるなどの理由により、入所率が低下しているところです。県では、これまで施

設の活用に向け、市町村職員等を対象とした説明会を開催してきましたが、今年度、有識者からなる検討会を設置し、専門の職員による見守り、食事の提供や健康管理など、施設の持つ特色をより一層周知すべき等の意見をいただいたところです。

今後、検討会の意見等を踏まえ、県のホームページや福祉関係者の会合等での施設の紹介、施設の活用につながる市町村事業の情報提供など、入所率の向上に向け取り組んでまいります。

要望

真亀川河口部の浸水問題について、九十九里町にも排水整備を働きかけていきたいと思えますので、県も町から相談や協議があった場合には、速やかな対応をお願いします。

☆お知らせ
実川議員の質疑の模様は千葉県議会のホームページから「インターネット中継(録画)」ですべてご覧いただけます。



議場に詰めかけた地元の支援者たち

九十九里地域の活性化に向け発言